

# 平成七年度社協会員加入状況報告

ご協力ありがとうございました

社会福祉協議会「社協」は、  
町民の皆様方の積極的なご支援  
ご協力に支えられて、福祉活動  
に取り組む住民主体の民間団体  
です。

そして、その活動は、皆様の会費によって支えられています。会員募集にあたりましては、区長さんをはじめ、役員の方々のご協力と町民の皆様のご理解により、下表のような結果を収めることができました。又、本年度は、特に社協副会長（法人会会長）林茂様のご尽力により、法人特別会員の加入促進をいただき、町内16事業所のご加入をいただきました。ここにご報告申し上げるとともに、皆様のご協力に対し厚くお礼申し上げます。

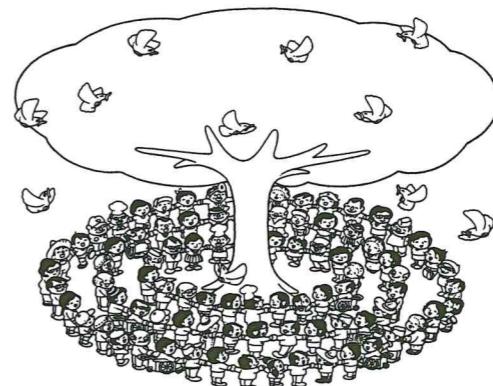
皆様からご協力いただきましては、ねたきり老人、障害者の方々等の在宅介護者手当をはじめとし、福祉タクシー運賃助成事業、地域ふれあい事業等、地域福祉事業に役立たせていただきます。

これからも、「みんなで支え

○月輪七九七一四  
○土塙四七四  
○山田五八〇

○株式会社  
○株式会社  
○株式会社

二万円  
二万円  
二万円



## 平成7年度会費実績表



ご協力ありがとうございました。

区分	対象世帯数	会員数	金額(円)	加入率
一般会費	3,158	2,242	2,242,000	71%
賛助会費	—	125	375,000	—
特別会費	—	18	90,000	—
法人特別会費	—	(24口) 16	240,000	—
合計	3,158	2,401	2,947,000	—

実習を終えて

小沢  
由美

熊谷養護学校に通う小沢由美さんが、今回、社協で現場実習を行ないました。公共施設での実習は昨年の図書館での実習に引き続き二回目になるそうですが、現在高校二年生の由美さんはそろそろ進路を考える時期にありその機会の一つとして、学校で取組んでいるそうです。いろいろなことに興味をもち、チャレンジ精神旺盛な由美さんですが、先に実習した図書館とはまたちがう雰囲気の中での実習だったので、とまどいもあつたことだと思います。「障害」と常に向い合いながらも、いつも明かるい由美さんは、毎日事務所へ出入りしている高齢者事業団の方たちともすぐにとけこめ、会員さんからも、いつもあたしかく言葉をかけていたござ

き、大勢の方々との出会いがありました。地域の方々とのかわりの中で、多くの経験ができたのではないかと思います。

又、実際に福祉に関わる方々のお手伝いをさせていただいている私達にとつても、相手の立場に立つて物事を考える機会を与えていただいたように思いました。

第10回ありのまま記録大賞の受賞者というタイトルで、広報12月号にも掲載された由美さんですが、今回は、九日間の地域実習の感想をお寄せいただきました。

今回の実習が由美さんにとって、将来へのよいステップになってくれることを願うとともに、今後のご活躍を期待しております。

# 実習を終え――

小沢由美

実習を終え、社協事務所にて  
(担任の先生と一緒に)

「分かりはしない」と思っていた  
私がだつた。

機能が障害者用にできておらず、中で使  
用途中で中の電気が消えてしまつたりと不便を感じた。今までそれを使う人がいなかつた証  
拠である。

今滑川町では、駅周辺の都市  
計画化なども進められている。そんな町の中のあらゆる場面で  
障害者をもつている人も関わり  
をもち、これからも住民の声が  
反映される町であつて欲しいと思  
います。